

# インデックス運用とアクティブ運用のちがいを⑤

## ～指数を上回る投資成果を目指すアクティブ運用の評価～

- 投資成果を予見できない以上、アクティブ運用の成果がゼロと予見することもできない
- 10年間の通算で見ればベンチマークを大きく上回る投資成果をあげたファンドに、そのうちの半年間だけ投資した投資家の投資成果がベンチマークを上回るとは限らない
- 過去に多くのファンドがベンチマークを下回る投資結果になったからと言って、将来も多くのファンドがベンチマークを下回る投資結果になるとは限らない

### 投資成果を予見できない以上、アクティブ運用の成果がゼロと予見することもできない

前回、「指数を上回る投資成果を目指す運用」についてご説明しましたが、投資はまだ見ぬ未来に向かって行うものであり、将来の投資成果を予見することはできません。ベンチマークを上回ることを目指して運用しても、実際に上回ることができる保証はありません。投資家側から見れば、どのファンドがベンチマークを上回るかを予見することもできません。また、10年間の通算で見ればベンチマークを大きく上回る投資成果をあげたファンドに、そのうちの半年間だけ投資した投資家の投資成果がベンチマークを上回るとは限りません。

一方で、もしもある市場で過去10年間、「指数を上回る投資成果を目指す運用」を行うアクティブファンドの7割がベンチマークを下回る投資結果になっていて、ベンチマークを上回ったのが3割のファンドだけだったとしても、今後の10年間でも7割のファンドベンチマークを下回る投資結果になると予見することはできません。5割のファンドが上回るかもしれませんし、9割のファンドが上回るかもしれませんし、1割のファンドしか上回らないかもしれません。10年間ベンチマークを上回る投資成果をあげ続けていたファンドがその後もベンチマークを上回り続けるか分からないように、10年間ベンチマークに下回り続けていたファンドがその後も下回り続けるかも分からないのです。

『「指数を上回る投資成果を目指す運用」を行うアクティブ運用の成果は、リターンがベンチマークをどのくらい上回ることが出来るかということなので、その成果は予見することができず、また、どのファンドがベンチマークを上回るか予見できないのだから、コストが安いインデックスファンドのほうが優れている』と断じすることはできません。

### 全ての人にとって正解となる答えがあるか

では、インデックス運用と「指数を上回る投資成果を目指す運用」を行うアクティブ運用でどちらが優れているか、どちらに投資するのが良いかに対する万人にとっての正解があるのでしょうか。あるいは、非常にシンプルな二者択一で、①指数のリターンからコスト分を差し引いた分だけ負けるもの、②指数のリターンに対してコスト控除後で勝つか負けるか引き分けか分からないもの、があったとして全ての人にとって正解となる答えがあるのでしょうか。

大切なことは、各投資家が自分の考えに合ったものを選ぶことです。

#### 当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

# 「投信新世代」のための基礎知識



## 「iInfo」はピクテのインターネット専用「iTrust」シリーズの 受益者のみなさまにご提供する**会員限定サービス**です。

ピクテのiInfoには投資家のみなさまの、  
「**プロ並みのファンドや市場環境の情報がほしい**」  
「**投資に役立つ知識を自分のペースで学びたい**」  
…というご要望を満たす様々な情報をご用意しております。

具体的には、iTrustシリーズのバリュエーションレポートやピクテの短期・長期の投資環境見通しを紹介した戦略レポート「Barometer」  
「Secular Outlook」、投資の基本をやさしく学べる「BASE VIDEO & TEXT」、コラム「投信新世代のための基礎知識」など、様々なコンテンツが用意されています。

### iInfo詳細はこちら

<https://www.pictet.co.jp/itrust/iinfo>

(「iInfo」で検索してください)



### iInfo by Pictet Facebookページのご紹介

iInfoのFacebookページができました！  
ここでは、私たちが日々取り組んでいることや、  
みなさまのお役に立てそうなことなど、  
様々な情報をお届けしてまいります。

**iInfo by Pictet Facebookページ**  
<https://m.facebook.com/iinfo.pictet.jp/>

(Facebookで「iInfo」  
と検索してください)



#### 当資料をご利用にあたっての注意事項等

- 当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。
- 運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。